

甲・信・越——長野県

# サン工業(株)

## ゴルフシャフト表面処理シエアトップ 機能性めっきで先端分野の需要を開拓

今年で創業68年目となる長野の老舗めっき専門メーカー、サン工業(株)。付加価値の高い技術を応用しながら多様な分野のモノづくりを支えている。

ラつきが少なく、1000分の1の精度設計が可能。熱処理



無電解ニッケルめっきをほどこしたHDD(ハードディスクドライブ)部品

によって硬度を高めることもできる」と川上健夫社長は説明する。

同社の得意技術のひとつが「無電解ニッケルめっき」。通電によらず、めっき液に含まれる還元剤の酸化作用によって放出される電子で被膜を形成する方法で「厚みのバ

含む照明機器では点灯時の熱を逃がすアルミニウム素材の腐食防止

目的でも、無電解ニッケルめっきが使われているという。また、ニッケル3層にクロムめっきを施した合計4層からなる独自の「Ni-Crめっき」は大手メーカー製品の表面加工に採用され、国内

### 太鼓判押しします!!



東京中小企業投資育成  
業務第四部  
矢内雅章さん

金属表面処理のなかでも、機能性めっきを得意としており、顧客の要望に応え最適化されたオンリーワンの表面処理方法をあらたに試作提案できる点が強みです。一人ひとりの社員教育に力を入れ、めっき技術をはじめとする能力開発に注力しており、さらなる成長が期待されます。

さらには、医療用途でアルカリ系洗浄剤や次亜塩素酸ナトリウムなどの殺菌剤にも耐える独自開発の「エスプロテクトM2」、無電解皮膜にフッ素樹脂を分散させ滑り性や撥水性に優れる「カニフロン」(PTFE複合無電解ニッケルめっき)などがある。

さらには昨年は信州大学との産学連携で、従来の銀メッキ被膜にカーボンナノチューブを均一に分散させた



「社内でも1回勉強会を開き、若手社員の技術指導や改善提案制度などを設けている」と川上社長

社長の自社採点	
企画開発	☆☆☆☆
営業力	☆☆☆☆
成長力	☆☆☆☆
収益力	☆☆☆☆
地域貢献力	☆☆☆☆
人材力	☆☆☆☆
専門性	☆☆☆☆
リサーチ力	☆☆☆☆
計画性	☆☆☆☆
リスクマネジメント	☆☆☆☆

■会社概要  
所在地・長野県伊那市西箕輪大芝原2148-186(伊那工業団地内) / ☎0265-78-2510 / 設立1949年 / 従業員109人 / 資本金900万円  
<http://www.sun-kk.co.jp/index.html>

シエアトップを誇っている。耐久性と外觀のよさが求められるゴルフシャフトなどに使用されているからだ。

そのほか特徴的な機能性めっきとしては、医療用途でアルカリ系洗浄剤や次亜塩素酸ナトリウムなどの殺菌剤にも耐える独自開発の「エスプロテクトM2」、無電解皮膜にフッ素樹脂を分散させ滑り性や撥水性に優れる「カニフロン」(PTFE複合無電解ニッケルめっき)などがある。

さらには昨年は信州大学との産学連携で、従来の銀メッキ被膜にカーボンナノチューブを均一に分散させた

「カーボンナノチューブ複合銀めっき」の開発が話題を呼んだ。「めっき被膜が電気接点となり、導電性や耐久性に加えて接触抵抗が低く耐硫化性に優れるといった特性を持ち、電子部品の端子やコネクターとして活用が期待できる」そうだ。

同社がさまざまなめっき技術の導入・開発を手掛けるようになったのは1990年代後半から。「多くの企業は従来技術を海外に移転させ、安価に作業を行うことで活路を求めたが、あえて国内で人材育成と設備投資に集中した。時間はかかったがそれが奏功している」と川上社長。「今後



産学連携によるカーボンナノチューブ複合銀めっきの開発では「平成28年度文部科学大臣表彰科学技術賞」を受賞した

社長のひそか  
QRコード  
スマートフォンで読み取ってください